

平成20年度(前期)市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で述べられたご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

Q 巡回バスのアンケートの結果はどのようになっているのか。

A アンケートの結果については、ホームページに載っているが、これから、内部においてプロジェクトチームを立ち上げ、ふれあい号・きらら号も含めた全体的な循環バスについての検討を始めていきたいと考えている。その後、検討委員会を設置して、今後どうするか検討していきたいと考えている。

Q 道の駅の進捗状況は？

A 道の駅の予定地については、交通の利便性や入りやすさを考慮して、自治医大の南側の道路を東にきて、新4号国道との交差点の東側で北側の区域になった。

面積は3.3haで、国との連携があって、国が行う駐車場・トイレ等の用地について、1.4haが国の持分となり、市の持分が1.9haとなる。用地については、江川・五千石土地改良区のほうでご協力いただけることになった。

着工については、国道との関係もあるが、今のところ、今年度に用地等を購入をして、次年度から敷地の造成、建物の建築ということで、オープンについては、平成23年の春を予定している。

第3セクターについては、今後、立ち上げについての検討委員会を設置し、どのような形がよいのか進めていきたいと思っている。

Q クリーンパーク茂原は引き続き利用できるのか。

A 石橋地区は宇都宮広域にお世話になっており、国分寺・南河内地区は小山広域にお世話になっている。その中で分別の仕方が違うとか焼却炉の対応年数等の問題もあるので、将来的には一体化を考えていかなければならない時期がくると思う。こういったものについては、域内処理の原則というのがあるが、我々のところは、合併の特例の中で使わせていただいております。宇都宮市には使える限りは使わせてほしいとお願いしている。

Q 合併の効果は、どういう点にあったのか。

A 繰上げ償還が認められたことや、交付税の10年間の特例措置においては、合併をした中で、コストをどうやって下げていくか、借金をどうやって返していくか、将来に向けてどういうふうにまちづくりをしていくかということなどについて、緩やかな下降をたどっていくとは思いますが、考える時間をいただきながら推移していくことができるという大きなメリットがある。そして、合併特例債等をベースとしながら、地域において、様々なものが展開できるという状況もある。

Q なぜ、新庁舎を建てるのか。今の庁舎を改善して利用できないのか。

A 現在、分庁舎方式になっており、各庁舎の耐震工事をするコストと新庁舎にするコストを考えていただきたいし、今、諮問しているところでは、人間の配置の部分で、もう少しコスト縮減ができるかできないかということも考えている。一つの庁舎に集めたほうがより効果的に活動できるのか、それとも、今の状態のままでのよいのか、そういったものも全部踏まえた中で、現在、検討委員会で検討していただいている。皆さんのほうにもいろいろとご説明をさせていただきたい。そして、お話しがあったように、今の建物を補強して使ったほうがよいという意見も確かにあると思う。そういったものも含めた上での費用対効果等を踏まえて検討したいと考えている。

Q AEDを使うにあたって、講習などは市のほうで考えているのか。実際、AEDを使わなければならない状態になったときに、使い方が悪かったために命に障害があった場合、責任はどうなるのか。

A 講習は、消防組合でやっているところに受けに行ってもらいたいという形になる。AEDの使い方は簡単なもので、まずは、受けに行ってもらいたい。

資格をちゃんともらった中で、一生懸命に救命活動をやった結果について、誰も非難できるものではないと思う。